

ぐんまで頑張る職業人の熱意をレポート!

柴崎龍吾の課外授業

Vol.39

うすい学園代表取締役の柴崎龍吾が街に飛び出して、元気に働く人にインタビュー。子どもたちのために、職業の多様性や働くことの意味を毎月レポートしていきます!



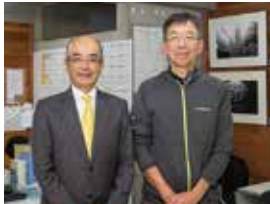
エフエム群馬にてインタビュー内容を放送中! 毎週月曜 ワイド番組「ユウガチャ!」内 16:41頃~



うすい学園代表取締役 柴崎龍吾
大学在学中に劇団を主宰し、卒業後は放送作家として活動。1975年に個人塾「横川学習塾」を開校し、以降、うすい学園を展開。子育てや教育に関する著書多数、ラジオ番組出演中。

今月の職業人

株式会社ITREK(アイトレック) 代表取締役社長 梅澤 榮さん



▲前橋市出身。建築設備の設計事務所は後進に任せ、今はITREKが本業だと笑う
◀最初に登った山は谷川岳。苦勞して西黒尾根を抜けた後の素晴らしい眺望は、今でも忘れられない感動だと話す。スキーは中学校時代に始め、剣岳を滑り降りた経験を持つほどの腕前。これから登山を始める人には、自身の体力と技術に合った山やコースを選んで楽しんでほしいとアドバイスを送る

山の素晴らしさを伝えるため 異業種から起業

柴崎 今回のハイキングや登山ツアー専門の旅行会社である、ITREK(アイトレック)の代表取締役社長・梅澤 榮さんにお話を伺います。まず、アイトレックの設立経緯を教えてください。

梅澤 ITREKは平成27年3月に設立しました。私はもともと、建築設備の設計事務所を営んでおりまして、約20年前からはスキーを教えたり、登山のガイドをやっていたんです。

柴崎 ずいぶん異色の組み合わせですし、多忙な生活ですね。梅澤さんは、そもそも山に親しんでいたのですか。

梅澤 そうですね。最初はスキーのために山登りを始めました。パウダースノーを滑り降りたくて、スキーを担いで冬山

へ登る。でも、いつしか冬以外にも山を登るようになったんです。雪が降ったらあそこを沢を攻めよう、ここは面白そうだと、下見をするようになったからです。そうこうするうちに、スキーだけでなく、登山ガイドも行うようになりました。

柴崎 それが会社設立のきっかけですか。

梅澤 そうですね、そういう下地があるなかで5年前、足を骨折して入院する機会がありました。2カ月間入院したので、目に見えて足が細くなり、筋力も落ちていく。不安で仕方がなかったんです。この経験から、生涯自分の足で歩いて、末期を迎えるのを目標にしたんです。同時に、安全に山を楽しむ技術を広く伝えることの思いから、起業しました。

柴崎 すごい行動力ですね。ITREKでは、どんなツアーを企画しているのですか?

梅澤 ハイキングなどの手軽なものから、日帰り登山、1泊、2泊するような本格的なツアーまで、多彩に企画しています。基本的には私自身がガイドを行い、4人〜7人のパーティーで年間80回程度、国内のさまざまな山に行っています。

柴崎 ツアーガイドの仕事で大切にしているのは何でしょうか。

梅澤 当然ですが、何よりもお客様の安全を第一にしています。無事に下山するのが使命ですので、知らない山の登山を企画する際は、必ず事前に情報を収集したうえで下見に出かけ、生息している動物や危険箇所などをチェックします。また、参加者の年齢に合わせた速度や、ペリス配分などにも気を配ります。常連の方の場合でも、その日の体調を見極めながら、歩くスピードを変えたりします。

柴崎 すごい気配りですね。登山ツアーのやりがいは何でしょうか?

梅澤 山は同じルートでも季節や天候によって表情が変わるなど、さまざまな魅力がありますが、下山したときに、参加者の方が喜んでくれるのが一番のやりがいです。それと、何度も参加してくださる方が、だんだんと山に慣れ、次第に山やルートへの難易度を上げていく様子を見られるのは、やっぱり嬉しいですね。

柴崎 今後は海外の山に登るツアーを企画するために、免許取得を目指していると話す梅澤さん。常にツアー参加者の目線に立ち、安全に登山を楽しんでほしいと尽力する姿勢、そして登山の楽しみを広めようとする思いに共感しました。興味のある人はぜひ参加してみてください。いい。それではまた次回!

